



2024年2月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（非連結）

2023年10月10日

上場会社名 バリオセキュア株式会社 上場取引所 東
コード番号 4494 URL <https://www.variosecure.net/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶浦 靖史
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 磯江 英子 TEL 03 (5577) 3284
四半期報告書提出予定日 2023年10月11日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第2四半期の業績（2023年3月1日～2023年8月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第2四半期	1,306	△2.3	290	△24.6	285	△19.7	190	△22.3	190	△22.3
2023年2月期第2四半期	1,337	4.2	385	6.3	355	5.3	245	5.1	245	5.1

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第2四半期	42.21	41.55
2023年2月期第2四半期	64.56	62.74

(2) 財政状態

	資産合計	資本合計	資本合計比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第2四半期	7,744	5,388	69.6
2023年2月期	7,826	5,378	68.7

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	0.00	—	40.50	40.50
2024年2月期	—	0.00	—	—	—
2024年2月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年2月期の業績予想（2023年3月1日～2024年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,685	1.9	456	△21.4	444	△18.0	308	△19.5	68.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年2月期2Q	4,515,613株	2023年2月期	4,515,613株
② 期末自己株式数	2024年2月期2Q	1,519株	2023年2月期	470株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年2月期2Q	4,515,137株	2023年2月期2Q	3,800,441株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) キャッシュ・フローの分析	2
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 要約四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 要約四半期財政状態計算書	3
(2) 要約四半期損益計算書及び要約四半期包括利益計算書	5
(3) 要約四半期持分変動計算書	7
(4) 要約四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 要約四半期財務諸表に関する注記事項	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、所得、雇用環境が改善される中、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されているものの、物価やエネルギー価格の上昇による影響が懸念されております。加えて、世界的な金融引締め等により、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっております。

当社を取り巻くセキュリティサービス市場の環境としては、サプライチェーンを狙ったサイバー攻撃や一般企業・病院等を狙うランサムウェア被害（身代金要求型ウイルス）が増加しております。また、企業によるクラウドサービスの利用やDX化の推進等により、セキュリティ対策は必然となっております。

そのような環境下、当社は従来のゲートウェイセキュリティに加え、エンドポイントセキュリティ対策としてサイバー攻撃の兆候を検知するVarioマネージドEDR、増加するランサムウェア被害（身代金要求型ウイルス）から企業の情報資産を守るデータバックアップ（VdAP）、社内の通信機器の状況を運用監視し、通信環境を脆弱性から守るマネージドLAN/WIFI等の各種サービスにより、増大する脅威に対して多層防御により安心、安全なビジネス環境の構築を支援して参りました。

当社は、今期から2026年2月期にかけて、中期経営方針のもと「マネージドサービスの対応領域拡大・競争力強化」「成長セキュリティ市場への参入」「既存販売網と異なる新規営業体制の強化」を掲げ、人材の獲得、サービス企画・事業開発の強化、ソフトウェア開発等の事業投資を行う計画を公表し、実現に向けての取り組みを行っております。

このような状況のもと、売上収益は、マネージドセキュリティサービスではストック型の収益と、その低解約率（0.73%）（注）及びVarioマネージドEDRのライセンス数増加により前年同期比では増収となりました。インテグレーションサービスでは統合セキュリティ機器（UTM）の販売低迷により、前年同期比を下回りました。また、中期経営方針に基づく事業投資により、新規採用コスト、広告宣伝費等を計上したことにより、各種段階利益では、前年同期比で減益となりました。

以上の結果、IFRSに準拠した当第2四半期累計期間の業績は、売上収益1,306,037千円（前年同期比2.3%減）、営業利益290,874千円（同24.6%減）、税引前四半期利益285,071千円（同19.7%減）、四半期利益190,598千円（同22.3%減）となりました。

なお、当社は、インターネットセキュリティサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしておりません。

（注）解約率（金額ベース）＝当第2四半期累計期間解約金額÷（各年度の期初ベース月次売上収益×6）

(2) 財政状態に関する説明

IFRSに準拠した当第2四半期会計期間末における財政状態の状況は以下のとおりであります。

（資産）

当第2四半期会計期間末における資産合計は、7,744,104千円となり、前事業年度末に比べ82,086千円減少しました。これは主に、棚卸資産が31,292千円、有形固定資産が92,355千円及び無形資産が33,863千円増加し、現金及び現金同等物が246,205千円減少したことによりです。

（負債）

当第2四半期会計期間末における負債合計は、2,355,580千円となり、前事業年度末に比べ91,637千円減少しました。これは主に、非流動負債のリース負債が65,815千円増加し、非流動負債の借入金が100,000千円及びその他の非流動負債が62,666千円減少したことによりです。

（資本）

当第2四半期会計期間末における資本合計は、5,388,523千円となり、前事業年度末に比べ9,550千円増加しました。これは主に、四半期利益の計上により利益剰余金が190,598千円増加し、配当金182,863千円により利益剰余金が減少したことによりです。

（3）キャッシュ・フローの分析

IFRSに準拠した当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

当第2四半期累計期間における資金は、前事業年度末に比べ246,205千円減少し、当第2四半期会計期間末には793,755千円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は、176,219千円（前年同期は201,648千円の収入）となりました。主な増加は、税引前四半期利益285,071千円、減価償却費及び償却費91,791千円、主な減少は、棚卸資産の増加額31,292千円、営業債権及びその他の債権の増加額19,224千円、その他の非流動負債の減少額62,666千円、法人所得税の支払額88,103千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は、90,745千円（前年同期は63,249千円の使用）となりました。主な減少は、無形資産の取得による支出64,392千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は、331,679千円（前年同期は289,002千円の使用）となりました。主な減少は、長期借入金の返済による支出100,000千円、配当金の支払額182,623千円によるものであります。

（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、新型コロナウイルス感染症による当社の業績への影響は軽微であります。従いまして、2024年2月期の業績予想については2023年4月12日に公表した業績予想を据え置き、今後の事業動向を踏まえ、業績予想の修正が必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 要約四半期財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期財政状態計算書

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第2四半期会計期間 (2023年8月31日)
	千円	千円
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	1,039,961	793,755
営業債権及びその他の債権	443,904	463,129
棚卸資産	260,283	291,575
その他の流動資産	181,143	170,292
流動資産合計	1,925,292	1,718,753
非流動資産		
有形固定資産	158,905	251,260
のれん	5,054,613	5,054,613
無形資産	296,075	329,938
その他の金融資産	63,384	63,384
繰延税金資産	166,352	147,656
その他の非流動資産	161,566	178,496
非流動資産合計	5,900,898	6,025,350
資産合計	7,826,190	7,744,104

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第2四半期会計期間 (2023年8月31日)
	千円	千円
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	200,000	200,000
営業債務及びその他の債務	81,751	90,026
未払法人所得税等	105,254	88,401
引当金	94,858	100,234
その他の流動負債	350,810	359,201
流動負債合計	832,674	837,864
非流動負債		
借入金	1,300,000	1,200,000
リース負債	-	65,815
引当金	18,432	18,456
その他の非流動負債	296,110	233,443
非流動負債合計	1,614,542	1,517,715
負債合計	2,447,217	2,355,580
資本		
資本金	749,758	749,758
資本剰余金	2,048,261	2,050,077
利益剰余金	2,581,039	2,588,774
自己株式	△85	△85
資本合計	5,378,973	5,388,523
負債及び資本合計	7,826,190	7,744,104

(2) 要約四半期損益計算書及び要約四半期包括利益計算書

要約四半期損益計算書

第2四半期累計期間

	前第2四半期累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
	千円	千円
売上収益	1,337,217	1,306,037
売上原価	539,240	532,946
売上総利益	797,977	773,091
販売費及び一般管理費	413,515	482,290
その他の収益	1,478	75
その他の費用	0	1
営業利益	385,940	290,874
金融収益	1	4
金融費用	30,804	5,807
税引前四半期利益	355,137	285,071
法人所得税費用	109,770	94,473
四半期利益	245,367	190,598
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	64.56	42.21
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	62.74	41.55

要約四半期包括利益計算書
第2四半期累計期間

	前第2四半期累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
	千円	千円
四半期利益	245,367	190,598
その他の包括利益	-	-
四半期包括利益	245,367	190,598

(3) 要約四半期持分変動計算書

前第2四半期累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	合計
	千円	千円	千円	千円	千円
2022年3月1日時点の残高	330,018	1,641,719	2,351,369	△49	4,323,058
四半期利益	-	-	245,367	-	245,367
四半期包括利益合計	-	-	245,367	-	245,367
自己株式の取得	-	-	-	△36	△36
配当金	-	-	△153,647	-	△153,647
新株予約権の行使	800	800	-	-	1,600
株式に基づく報酬取引	-	703	-	-	703
所有者との取引額合計	800	1,503	△153,647	△36	△151,379
2022年8月31日時点の残高	330,818	1,643,223	2,443,089	△85	4,417,045

当第2四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	合計
	千円	千円	千円	千円	千円
2023年3月1日時点の残高	749,758	2,048,261	2,581,039	△85	5,378,973
四半期利益	-	-	190,598	-	190,598
四半期包括利益合計	-	-	190,598	-	190,598
配当金	-	-	△182,863	-	△182,863
株式に基づく報酬取引	-	1,815	-	-	1,815
所有者との取引額合計	-	1,815	△182,863	-	△181,047
2023年8月31日時点の残高	749,758	2,050,077	2,588,774	△85	5,388,523

(4) 要約四半期キャッシュ・フロー計算書

	前第2四半期累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
	千円	千円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	355,137	285,071
減価償却費及び償却費	76,181	91,791
引当金の増減額 (△は減少)	-	5,376
金融収益	△1	△4
金融費用	30,804	5,807
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△62,188	△31,292
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△25,319	△19,224
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△64,096	10,828
その他の非流動資産の増減額 (△は増加)	△16,924	△16,929
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△10,967	8,775
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	10,479	△4,759
その他の非流動負債の増減額 (△は減少)	8,591	△62,666
その他	△6,411	△2,785
小計	295,283	269,987
利息の受取額	1	4
利息の支払額	△8,691	△5,669
法人所得税の支払額	△84,944	△88,103
営業活動によるキャッシュ・フロー	201,648	176,219
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,566	△26,352
無形資産の取得による支出	△56,682	△64,392
投資活動によるキャッシュ・フロー	△63,249	△90,745
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による収入	1,600	-
短期借入金の純増減額 (△は減少)	100,000	-
長期借入れによる収入	1,600,000	-
長期借入金の返済による支出	△1,800,000	△100,000
リース負債の返済による支出	△36,872	△49,055
自己株式の取得による支出	△36	-
配当金の支払額	△153,193	△182,623
その他	△499	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△289,002	△331,679
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△150,603	△246,205
現金及び現金同等物の期首残高	389,846	1,039,961
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	239,237	793,755

（5）要約四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

当社はインターネットセキュリティサービス事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。